



ONE ROAD

オーストラリアの砂漠が生んだアボリジニ・アート

海外巡回展用資料
オーストラリア国立博物館

我々は絵を描くことで
世界に自分たちの物語を伝えている。

クリフォード・ブルックス、アボリジニ・アーティスト

「クンクン」 2008年

ノーラ・ナンガバ、ノーラ・ワンピー、ブガイ・ワイルータ、クンバジウヤ・ギルガバ、マートウ
ーミリー・アーティスト集団
アクリル、カンヴァス、124.5 x 294 cm
オーストラリア国立博物館

**national
museum
australia**



「One Road:オーストラリアの砂漠が生んだアボリジニ・アート」は、社会の歴史にまつわる資料の収集・保存で知られるオーストラリア国立博物館による、優れた現代アート作品の巡回展です。かつてない程の成功を収めた「イウォラ クジュー: キャニング・ストック・ルート」展を土台として、オーストラリアの砂漠地方に暮らすアボリジニの人々の芸術や文化、自然の世界を海外の観客に届けようというものです。



「イウォラ クジュー: キャニング・ストック・ルート」展は22万人以上の観客を動員し、オーストラリア国立博物館において最も成功を収めた作品展となった。
写真:ジェイソン・マッカーシー



背景

本展示会のタイトルである「One Road」は、オーストラリア西部の砂漠を縦断する1,800キロメートルの一本道、キャニング・ストック・ルートを示しています。この道は100年以上前に、北部の牧草地から南部の牛肉市場へと牛を移動させるために作られ、当時地元のアボリジニの人々が初めて西洋の入植者と出会う接点となりました。家畜の移動路として世界最長のひとつであるこの道は、人間が暮らすには最も厳しいような荒野の環境に位置しています。キャニング・ストック・ルートの物語は、オーストラリアの辺境地における開拓の物語であると同時に、一本の道がいかにアボリジニの人々の砂漠生活を変えていったのかを語るものでもあります。キャニング・ストック・ルートは100年前、アボリジニの人々を砂漠から20世紀の世界へと導きました。そして現在は、グローバル化が進む現代社会において、その文化的・芸術的価値が改めて脚光を浴びているアボリジニの砂漠アートを理解する手がかりを私たちに与えてくれます。



(上) キャニング・ストック・ルート、51番目の井戸の北側、西オーストラリア州、2007年
写真: ティム・アカ

(左) 西オーストラリア州ウィルナからホールズ・クreekまでの1,800キロメートルを結ぶ、キャニング・ストック・ルートの全体図

キャンニング・ストック・ルートについての作品

9つの言語集団に属する70名のアボリジニ・アーティストが、2007年にオーストラリア中央部各地からキャンニング・ストック・ルートへと集まりました。この一本道を旅していく過程で大地を描き、動画を撮ると共に、土着の物語を記録に残すためでした。これにより、120を超える絵画や数々の動画、2万枚以上の写真が生み出されました。また3年間に及ぶ研究を経て、アボリジニの伝承物語が録音されるなど、キャンニング・ストック・ルートの作品が次々と集められました。こうした作品は現在、オーストラリア国立博物館の収蔵作品の中でも最高の価値を放つに至っています。



(最上)28番目と29番目の井戸間を移動する車、2007年
(上)キャンニング・ストック・ルートの36番目の井戸にて、屋外スタジオで制作を行うアーティストたち

写真:ティム・アカ

(右)「クンクン」(2008年)の共同制作中、自身の故郷を説明するクンパヤ・ギルガバ

写真:マリーカ・ビルジャブー



(上)「キリーウィリー」 2008年

ジャン・ビリーカン、ユルバリジャ・アーティスト集団
アクリル、リネン、各79.5 x 59.5 cm
オーストラリア国立博物館

(左)「ミニュブル(七人姉妹)」 2008年
ジャカジュ・ビルジャブー、マートゥーミリー・アーティスト集団

アクリル、カンヴァス、187 x 121 cm
オーストラリア国立博物館

展覧会について

One Road:オーストラリアの砂漠が生んだアボリジニ・アート」は、キャンニング・ストック・ルートの作品群から選ばれた約50の絵画作品で構成されています。オーストラリアで最も有名なアボリジニ・アーティストであるロヴァー・トーマスやパトリック・チュングライ、ユーバナ・ナンピジン、ジャン・ビリーカン、ワカルトゥー・コーリー・サブライズ、ジャッキー・ジャイルズ、スパイダー・スネル、ヘリコプター・チュングライ等の作品が含まれています。

この作品展は、砂漠を題材としたコンテンポラリー・アートの世界について教えてくれるだけでなく、制作にあたった作者たちの物語も写し出しています。これにより観客は、こうしたコンテンポラリー・アートの一形態が、いかにして世界最古の文化から生み出されたのかを理解することができます。

アーティストたちの写真や、絵画に描かれる実際の風景写真が同時に展示されることで、初めてこのような作品を見る観客でも、すんなりと作品の世界に入っていくことができます。またアーティストや彼らの生い立ち、及び作品の世界を説明する動画を同時に上映することで、アボリジニの人々の生の声が海外の観客に直接届くような構成になっています。



「ミニチュラ(七人姉妹)」2007年
ムニー・リータ・シン普森、ロージー・ウィリアムズ、ダルシー・ギブズ、マートゥーミリー・アーティスト集団
アクリル、リネン、300 x 125 cm
オーストラリア国立博物館

展覧会の主題

本展覧会に登場する作品は、歴史や先祖といった特定の主題ごとにまとめられています。観客はこれらの作品を通じて、カントリー(大地)やドリーミング(神話)、歴史といったアボリジニ・アートが描く主題の世界に導かれることになります。

カントリー(大地)

アボリジニ・アーティストたちは、自分たちの「カントリー(大地)」を作品に描いています。これは単に土地や風景を指すではありません。彼らにとって大地とは、場所のみを示すのではなく、世界の意味を理解させてくれる存在であるためです。そこでは時と空間が交わり、意味と記憶が創出されます。アーティストたちは大地を描くにあたって、多くの聖なる場所を題材に選んでいます。こうした聖域は時に力強く、時に危険を秘めており、彼らはこうした世界を絵筆で巧みに説明しています。



ヘレン・ヒル、キャンニング・ストック・ルートにおける27番目と28番目の井戸の間の場所 2007年
写真:ティム・アカ

ドリーミング(神話)

ドリーミングとは、天地創造を示すアボリジニの人々の概念であり、世界の始まりの物語を引き継ぐことを指します。しかし単なる神話ではなく、先祖からの信仰や教を代々継承していく営みです。ドリーミングの世界では、祖先の精霊が起こした行動が、オーストラリアの大地を造ったと考えられています。精霊の行いやそれに伴う世界の始まりは、儀式や歌を通じて口頭伝承されています。精霊たちが残した痕跡が、やがてはオーストラリア大陸の創造につながったと信じられているせいです。現代のアボリジニ・アーティストたちは、こうした伝統的信仰を絵画や他のコンテンポラリー・アート作品として表現しています。本展覧会では「七人姉妹」や「ヘビ男」ディサポイントメント湖に潜む人食いなどの重要な神話を通じて、砂漠を題材とした絵画のこうした文化的側面に光を当てています。



「日曜日の井戸」2008年
ダグダ・サムソン、マートゥーミリー・アーティスト集団
アクリル、カンヴァス、120.5 x 76 cm
オーストラリア国立博物館



歴史

本展覧会では、キャンニング・ストック・ルートという一本の道が、アボリジニの人々にどのような影響を与えたのかが描かれます。また同時に、わずか数十年の間に、狩猟採集者から世界に活躍する芸術家へと変貌を遂げたアーティストたちの驚くべき人生についても紹介しています。本展に登場するアーティストたちの大半は1950-60年代、西洋人とほとんど接触を持たないまま砂漠で遊牧民生活を送っていました。キャンニング・ストック・ルートにおける初めての白人との出会いや動物との遭遇、初めて機械を目撃した体験など、数々の興味深い物語がここには描かれています。



(上) ナタワールー(40番目の井戸)でのヘリコプターとの遭遇 1957年
 写真: ジョン・ヴィーヴァーズ
 ジョン・ヴィーヴァーズ・コレクション、視聴覚資料室、アボリジニ・トレス海峡諸島民研究所

(右) (左から) ジョージナとネイオミ、ユティのブラウン一家は、キャンニング・ストック・ルートで遊牧民生活を送った最後の家族と考えられている。1976年
 写真: ハリー・リーヴァー、Hesperian Press「砂漠に生まれて」より、2009年



「キンユー」2007年
 ユーバナ・ナンバジン、ワーラジーティ・アーティスト集団
 アクリル、リネン、184.5 x 124 cm
 オーストラリア国立博物館

観客にとっての体験

「One Road:オーストラリアの砂漠が生んだアボリジニ・アート」は、単に作品の美しさだけが魅力なのではありません。アボリジニの人々の視点に立ったオーストラリアの大地と歴史の世界へと観客を引き込んでいく点でも、画期的なコンテンポラリー・アートの作品展といえます。この一本道の様子を再現するかのように作品が配列されるため、観客は展示会場のスペースを移動するというより、作品に描かれる先住民たちの場所を歩き進むかのような感覚にとらわれます。またアーティストたちと観客との垣根を取り払うべく、展示内容には主としてアボリジニの人々の実際の言葉(作品や解説、動画、録音音声など)が収められています。

本作品展は、様々な点から楽しめるように構成されています。オーストラリアのアボリジニ・アートや、歴史・文化についての知識や関心の度合いに関わらず、観た者を引き込み、知的刺激を与える内容となっています。美術の愛好家からアボリジニ文化、オーストラリアの歴史に興味のある観客など、実に幅広い層を魅了する作品展です。

その他の資料

より積極的な鑑賞体験を楽しみたいという知的要求の高い観客のために、本展覧会ではマルチメディアを活用した展示スペースを設け、より深いテーマや文化的意味合いについて学ぶ機会を人々に提供しています。また会場以外でも、オーストラリア国立博物館はインターネット上で、本作品展の全体像や各アーティスト、全作品についての情報を掲載しています。

「イウォラ クジュー:キャンニング・ストック・ルート」展ウェブサイト

nma.gov.au/exhibitions/yiwarra_kuju/home

この他にも、歴史や「One Road:オーストラリアの砂漠が生んだアボリジニ・アート」の内容について、詳しく紹介しているスマートフォンアプリやインターネットアプリがあります。

oneroad.canningstockrouteproject.com/

itunes.apple.com/us/app/one-road-canning-stock-route/id708143626?ls=1&mt=8

本展覧会はオーストラリア国内で、特に学校訪問において高い人気を誇っており、あらゆる年齢の学生がアボリジニ・アートや文化について学んでいます。このためオーストラリア国立博物館では、様々な学習用資料の作成を行っています。

nma.gov.au/exhibitions/yiwarra_kuju/education_resources

作品展図録・カタログ

オーストラリア国内では本作品展のカタログ(全カラー、230ページ)が発売されており、オーストラリアのアボリジニ・アートについて紹介した画期的な内容となっています。オーストラリア国立博物館は、このカタログの再編集版や日本語版の発行にご関心のある団体、出版業者の皆様からのご連絡を歓迎申し上げます。

nma.gov.au/exhibitions/yiwarra_kuju/catalogue

キュレーター

本展覧会はオーストラリア国立博物館の企画によるもので、自ら所蔵するオリジナル作品や写真、動画により構成されています。巡回展における作品の選定は、2010年の「イウォラ クジュー:キャンニング・ストック・ルート」展でもキュレーターを務めた、ジョン・カーティ氏の手がけています。カーティ氏はオーストラリアにおける、砂漠を主題としたアボリジニ・アート研究の第一人者であり、オーストラリアやヨーロッパ、米国における国内・海外展示会の開催にこれまで広く関わっています。



「キャンニング・ストック・ルート地域」2007年

パトリック・チュングラレイ、パプニャ・トゥーラ・アーティスト集団
アクリル、リネン、122.6 x 187 cm
オーストラリア国立博物館



オーストラリアの過去の出来事を生き生きと伝える空間、それがオーストラリア国立博物館です。本博物館は首都キャンベラに位置しており、オーストラリアの土地や国、国民についての豊かな物語を様々な形で皆様にお届けします。

Where Australian Stories come alive

**national
museum
australia**